

学 習 日 誌

2月 7日（水）		講 師	東海大学 助川幸逸郎教授 及びあすなろ生発表者
出席者数	あすなろ生：87名 来賓者：2名 一般来場者：13名	記 録 者	14年 10班 武藤 信義
講 座 名		あすなろ大学展2025 3日目（2月7日）	
プログラム担当者		あすなろ大学 大学展委員会	
時 間・場 所		10：00 ～15：30 東地区文化センターにて	

【学習内容】

10：00～10：30

〔 仮想計画座間市に酒蔵を造る！Ⅳ座間市で酒造米を栽培する 〕：岩宮 正治
2019年に有志6人でお米の栽培から日本酒を造る夢の実現の計画を発表した。

10：35～11：00

〔 日本の城 丸亀城 ～石垣の名城～ 〕：門田 高士
城を調べ始めて11年目8城目の城は石垣のカーブがとても美しい。1660年3層3階の御三階櫓が完成した。認定により重要文化財になった。日本一深い井戸（65.4m）又、石垣の高さは日本で2番目。

11：15～11：45

〔 あすなろ唄おう会 よもやま話“その34”歌謡「みだれ髪」 〕：あすなろ唄おう会
（朗読 森田 美代子）クラブ活動で毎回発表している作品の中でも涙なくして聞けなかったひとつです。森田さんの上手な朗読で涙しました。

午後：「佐藤 弥斗」座間市長がご挨拶に来られ、お祝いの言葉をいただきました。

13：00～15：30

☆ 特別講演：「恋」のまひろと「筆」の紫式部

講師：東海大学 文化社会学部

助川 幸逸郎教授



「恋」ではなく「文名への執着」に生きた人―大河の「まひろ」とは違う紫式部を語る―をテーマに2時間に渡り講演された。大河ドラマを軸に宮中で繰り広げら



れた恋愛、政治、背景、展開と源氏物語は文学としてなぜ傑作なのかをパフォーマンス豊かに伝えられた。

【感想】2年ぶりの大学展は、3日間を通して天候に恵まれ、高齢者の多くなったあすなろ大学生は元気いっぱい活躍され無事終了しました。